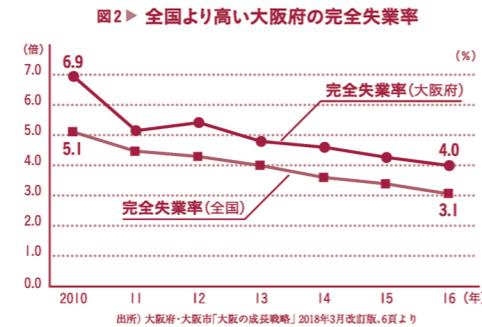


大阪は本当に成長したの？

経済と府民のくらしは
全国や他都市に比べ
悪くなっています。



維新府政・市政で廃止・削減・改悪した住民サービス

維新府政・市政は「破産会社だ」「二重行政だ」と決めつけ、住民サービスをこんなに削りました。

橋下・松井府政 ▶ 7年間で1550億円削減

- 特別養護老人ホーム建設補助を廃止
- 府営住宅戸数を削減
- 国民健康保険への補助を削減
- 街かどデイハウス補助金を削減
- 障がい者福祉作業所などへの補助を削減
- 土砂災害対策予算を削減
- ものづくり支援関連予算を削減
- 小売・卸商業関連予算を削減
- 中小企業への融資制度を改悪
- 府立高校の募集停止、廃校を計画

橋下市政 ▶ 4年間で710億円削減

- 住吉市民病院の廃止を決定
- 民間社会福祉施設職員給与改善補助金の廃止
- 上下水道料金福祉減免の廃止
- 敬老パスの有料化
- 赤バスの廃止、市バス路線の削減
- 国民健康保険料の連続値上げ
- 市立幼稚園、保育所の民営化
- 1歳児保育特別対策費の廃止
- 新婚世帯への家賃補助の廃止
- 保育料の軽減措置の改悪

「都構想」の向かう先 ▶ バイエリア巨大開発

維新は「今までの行政は大規模な開発をやって失敗して『負の遺産』をつくってきた」と批判。しかし、その実態は「都構想」に固執し、くらし関連予算を削減して得た財源をすでに破たんしたバイエリア開発につき込もうとしているだけです。これでは、過去の過ちの繰り返しではないでしょうか。



維新が進める巨大開発で
住民のくらしはガタガタに

- 貧困と生活不安の拡大
- 国保料・介護保険料の大幅引き上げ
- 地下鉄・市バス運賃の引き上げ
- 公有施設の売却 など

大阪を元気にするカギは、府民・中小企業を元気にすること

そのために、開発型経済から地域循環型経済へ転換しましょう

- 医療・福祉・教育を充実することで、暮らしを守り、新たな雇用を生み出します
- 中小企業を元気に経済を活性化させ、府民のくらしと地域を元気にします
- 再生可能のエネルギーを中心とした政策に転換し、地域社会を再生させます
- 防災対策を強化し、安心・安全なまちづくりをすすめます

